

平井元喜ピアノリサイタル
「がんと闘う世界のこともたちに

勇氣と希望を

ロンドンを拠点にカーネギーホールなど世界60カ国以上で演奏活動する平井元喜のピアノリサイタルが11月13日、浜離宮朝日ホールで行われた。今シーズンのワールドツアーの中で、オックスフォード、ロンドン、東京



の3公演は「がんと闘う世界のこともたちに勇氣と希望を」と副題が示す通り、収益全額を英王立マースデンがん基金（会長…ウィリアム王子）に寄付するチャリティー公演。J・S・バッハ・バルテータ第2番やベートーヴェン最晩年の傑作《6つのバガテル》作品126では、音楽家としての奥行きと深みを存分に発揮した。続く平井自作の組曲《伝説の詩》では、作曲家としての感性とオリジナル性に舌を巻いた。リストやゴトフスキーのシューベルトやシヨハンの歌曲編曲を含むロマン派の作品でみられたピアノの音色の変化と美しさは、高度な技巧の持ち主であることを忘れさせてしまうほどで、詩情あふれる幻想世界へと聴衆を誘った。